

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	福岡県	事業実施主体	福岡県、篠栗町	地域再生計画名	「ささぐり安心安全で活力ある町づくり計画」
計画期間	令和元年度～令和5年度	評価責任者	福岡県福岡農林事務所森林土木課、篠栗町産業観光課		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	林業従事者の増加 (篠栗町の林業従事者数)	6人	H29	7人	R3	6人	8人	R5	7人	×	最終目標値を下回っているが、林道整備による木材生産量の増加が図られており、今後、作業道等が整備されることにより更なる事業量及び林業従事者の増加が期待される。 林道整備やそれに通じる町道整備、林業従事者の育成などの施策の効果により、目標値を達成できた。 町道及び林道の整備による効果により、山間部の霊場やレジャー施設に訪れる人が増加しており目標値を達成できた。
	指標 2	林業の振興と森林整備の促進 (木材生産量の増加)	1,300 m3/年	H29	1,600 m3/年	R3	5,689 m3/年	2,500 m3/年	R5	5,209 m3/年	○	
	指標 3	観光の活性化 (年間観光入込客数の増加)	10 万人/年	H29	10.6 万人/年	R3	10.7 万人/年	11 万人/年	R5	11 万人/年	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
		計画	中間年度 (R3)	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）	270m	270m	270m	町道整備により、林道からの木材搬出が容易になり、木材生産量の増加及び、霊場へのアクセス改善、渋滞緩和にもつながると考える。							
	林道整備事業（整備延長）	3,500m	2,486m	3,452m	林道整備により、森林施策が困難な地域へのアクセスが改善され、木材生産量が増となっている。引き続き森林施策を行っていく。							
その他の事業	荒廃森林再生事業	荒廃した森林を再生し、公益的機能が十分に発揮できる緑豊かな森林地にして次世代へ引き継ぐため、森林の整備（間伐等）を行う。			公益的機能が十分に発揮できる緑豊かな森林へ誘導し、荒廃した森林の整備を実施することができた。							
	森林環境保全整備事業	計画的に行う搬出間伐等の森林施策と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			搬出間伐等の森林施策と作業道開設に対し補助支援を行うことにより、計画的な森林環境の保全整備を推進することができた。							
	森林保全再生整備事業	森林の有する公益的機能を発揮させるために必要な鳥獣の誘引捕獲を行う。			鳥獣被害により、森林の有する公益的機能の発揮に影響を与えないよう、誘引捕獲を行った。							
	森林セラピー事業	森林の自然資源を活用し、集客事業を行う。			森林セラピーウォーキングデーを実施した。引き続きセラピー登山の募集やツアーを開催していく。							
	観光トイレ整備事業	篠栗町内の観光地において、トイレ等を整備する。			令和2年度に観光トイレの指定を1件追加。令和4年度に観光公衆トイレを1件設置。							
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	篠栗町地域再生計画評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価、検討等を行った。											
⑤事後評価の公表方法	篠栗町のホームページに掲載。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に行い、地域のネットワークを強化することで、地域の主たる産業である林業における木材搬出の効率化による木材生産量の増加や地域に点在する観光資源へのアクセスの改善による観光交流人口の増加を図ることにより、当該地域の活性化を図ることを目的としている。町道では道路拡幅、林道では新規林道の開設を行うことで森林施策が困難な地域へのアクセス幹線となり、今後も森林整備や木材生産量の増加が見込まれる。また、渋滞緩和により、観光交流人口の更なる増加が見込まれ、地域の活性化に寄与するものと考えられる。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、観光交流人口の増加等も含め目標のほぼ達成が見込まれる。このため、さらなる森林整備や観光交流人口の増加を図るために森林整備の推進、観光情報発信等一層強化していきたい。一方、新規林道が開設し不法投棄等の心配の声が地元住民からあがっているため地元区と協議を重ね対応していきたいと考える。また、林業従事者の増加のために森林整備による木材生産量の増加だけでなく、空き家を活用していくなど、町への定住促進を進めるために協議していきたいと考える。											